

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 研究業務状況

(1) 二部門以上共通

1. 移動大学 [担当：芸術文化学部、伝統工芸学部、伝統芸能部門]

「沖縄県立芸術大学移動大学 in 久米島」

2013年12月21日～23日 会場：久米島町立清水小学校 他

1. 空手教室 講師：佐久本嗣男、佐和田香織
2. 沖縄文化教室 講師：波照間永吉
3. 琉球舞踊教室 講師：比嘉いずみ 助手：兼島翔子、山里静香
4. 三線教室 講師：仲嶺伸吾 助手：横山太陽
5. 沖縄の笛教室 講師：清村まり子 助手：和田信一
6. 声楽教室 講師：豊田喜代美、大城治 助手：北園あかね
7. 金管楽器教室 講師：阿部雅人、井上真紀子 助手：井上真紀子
8. ピアノ教室 講師：伊東陽
9. 織遊び教室 講師：柳悦州、花城美弥子 助手：寺田翔太郎
10. 七輪陶芸教室 講師：山田聡 助手：小浜由子、中前百合子
11. 紅型教室 講師：名護朝和、宇良京子 助手：国吉春香
12. 粘土アニメ教室 講師：仲本賢、又吉浩 助手：諸見愛美
13. 版画教室 講師：高崎賀朗、普天間実佳 助手：早田亜由美
14. 空手道講話・演武 出演：佐久本嗣男、佐和田香織
15. 洋楽コンサート 出演：豊田喜代美、阿部雅人、大城治、
井上真紀子、伊東陽、北園あかね、竹内志織
16. 琉球芸能公演 出演：琉球芸能専攻学生21名(和田信一、山里静香、
横山太陽、新城唯子、玉置麻侑、真栄城由衣、
高橋樹穂里、西濱玲奈、首里友香、又吉恭平、
嘉数愛美、嘉数幸雅、喜納彩華、島尻紀希、
玉城知世、親川遥、仲嶺良盛、上門夏生、

大湾美香、杉森咲野、沢岷安優)

運営担当教員：久万田晋、波平八郎

沖縄県立芸術大学事務スタッフ：比嘉貴子、玉利咲

参加人数

各教室受講者数：270名

空手道講話・演武 洋楽コンサート観客数：72名

琉球芸能公演観客数：175名

のべ参加人数：445名

2. タイ・ラオスの伝統文化研究
[担当：伝統工芸部門、伝統芸能部門]
3. 沖縄伝統文化研究資料の収集・データベース作成
[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]
4. 鎌倉資料の調査、整理、記録、教育的活用研究
[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]

(2) 芸術文化学部門

1. 地域文化の調査研究
 - a 『おもろさうじ』『琉球国由来記』の研究 {担当：波照間永吉教授}
 - b 波照間島の伝統文化の調査研究 {担当：波照間永吉教授・川平成雄調査員・平良勝保調査員・西岡敏調査員・飯田泰彦調査員・佐々木和子調査員・呉海寧調査員}
2. 『鎌倉芳太郎資料集(ノート篇三)』編集 {担当：波照間永吉教授}
3. 沖縄文化の比較文化論的研究 {担当：波平八郎教授}
4. 沖縄文化の歴史学的研究 {担当：麻生伸一講師}
5. 沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座 {担当：波照間永吉教授}
講座テーマ「宮古の歴史と文化」(総合教育科目「沖縄学」としても開講)
期間・時間：2013年4月10日～7月17日(毎週水曜日)午後7時～午後8時30分
 - 第1回 4月10日 講義概要の説明(登録予定学生のための)
講師：波照間永吉(附属研究所教授)
 - 第2回 4月17日 宮古の歴史と文化

- 講師：仲宗根将二(宮古島市史編集委員長) 受講人数：112名
第3回 4月24日 考古資料にみる宮古
講師：下地和宏(宮古郷土史研究会会長) 受講人数：113名
第4回 5月1日 古琉球・近世琉球期における宮古社会の諸相
講師：豊見山和行(琉球大学教授) 受講人数：107名
第5回 5月8日 人頭税と博愛美談
講師：平良勝保(沖縄県労働金庫) 受講人数：108名
第6回 5月15日 宮古の祭祀と御嶽
講師：本永 清(宮古の自然と文化を考える会) 受講人数：110名
第7回 5月22日 宮古島 魂の物語—祖神を抱いて生きる—
講師：奥浜幸子(民俗研究家) 受講人数：109名
第8回 5月29日 ニコライ・ネフスキーと若水的神話
講師：宮川耕次(宮古郷土史研究会) 受講人数：101名
第9回 6月5日 宮古の歴史伝承
講師：下地利幸(宮古郷土史研究会) 受講人数：107名
第10回 6月12日 宮古歌謡の研究
講師：上原孝三(沖縄文化協会) 受講人数：100名
第11回 6月19日 宮古方言の特徴
講師：野原優一(沖縄言語センター) 受講人数：100名
第12回 6月26日 宮古におけるシャーマニズムの世界
講師：佐渡山安公(民俗研究家) 受講人数：104名
第13回 7月3日 宮古の機織り—地機について—
講師：仲間伸恵(琉球大学講師) 受講人数：103名
第14回 7月10日 宮古の民俗音楽
講師：狩俣康子(民族音楽研究家) 受講人数：113名
第15回 7月17日 世界の視線からみた宮古研究
講師：上原孝三(沖縄文化協会) 受講人数：106名

受講者合計：延べ人数1,493人

※文化講座は第2回より。各回の講座要旨は巻末に「要旨集」として収録

6. おもろ研究会(平山良明代表)開催 {担当:波照間永吉}

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄染織の研究 {担当:柳悦州教授}

a 日本民藝館所蔵沖縄染織品調査(12月)

2. 織物技法研究 {担当:柳悦州教授}

a 腰機の復元と紋織りの研究

b 世界の織機と織物

4. 鎌倉芳太郎紅型型紙の画像データベース作成と研究 {担当:柳悦州教授}

5. タイ・ラオス織物文化調査 {担当:柳悦州教授}

6. 公開講座「織物入門」(全4回)

募集定員 15名

受講人数 18名

期間:平成25年10月~11月

「錘機を使ったコースターづくり」

10月20日 講師:新田摂子(附属研究所共同研究員)

「カード織でストラップを織る」

10月27日 講師:花城美弥子(本学美術工芸学部講師)

「ペンケース(袋織)に挑戦」

11月9日、10日 講師:柳悦州(附属研究所教授)

場所 附属研究所小講堂

受講者合計:57人

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽の調査研究 {担当:久万田晋教授}

a 奄美大島の民俗音楽の調査研究 [9月]

b 沖縄本島中部・北部のエイサーの調査研究 [8月、9月]

c 伊是名島の民俗祭祀・芸能の調査研究 [9月]

2. 沖縄・奄美の民俗音楽・芸能関係資料の収集 {担当:久万田晋教授}

3. 日本本土の音楽芸能文化の調査研究 {担当:久万田晋教授}

- a 岡山県の民俗芸能の調査・資料収集 [5月]
- b 香川県・高知県の民俗芸能の調査・資料収集 [8月、11月]
- c 鹿児島県の民俗芸能の調査・資料収集 [10月]
- 4. アジア諸地域の伝統音楽芸能の調査研究 {担当：久万田晋教授}
 - a タイ・ラオスの音楽芸能の調査研究 [3月]
- 5. 文化講座「バリ島のガムラン講座(初級、中学生～高校生向け)」 {担当：久万田晋教授}

2013年10月26日 全2回 実技+講義 講師：與那城常和子・杉山昌子

- 6. 文化講座「バリ島のガムラン音楽と舞踊講座(初級、一般市民向け)」
{担当：久万田晋教授} 2013年10月27日 全2回 実技+講義 講師：與那城常和子・中村由美子

- 7. 文化講座(無料)「国際協力と地域文化」全6回 {担当：久万田晋教授}

第1回 2014年1月30日(木) 講師：高砂大(国際協力機構職員)

「日本における開発援助の現状」

第2回 2014年1月31日(金) 講師：高砂大(国際協力機構職員)

「中米地域における国際協力機構の事例研究1」

第3回 2014年2月7日(金) 講師：古謝麻耶子(附属研究所共同研究員)

「モザンビークにおける青年海外協力隊体験」

第4回 2014年2月14日(木) 講師：古謝麻耶子(附属研究所共同研究員)

「モザンビークの地域文化と日本からの国際協力」

第5回 2014年2月22日(土) 講師：高砂大(国際協力機構職員)

「中米地域における国際協力機構の事例研究2」

第6回 2014年2月22日(土) 講師：高砂大(国際協力機構職員)

「日本による開発援助の可能性」

受講者合計：延べ人数 69人

II 主要研究業績

1) 研究所員主要研究業績 (2013年1月～12月)

1. 著書・編書
2. 論文
3. 作品発表・公演
4. 研究発表
5. 解説等
6. 講演・放送
7. その他

2) 助成研究

1. 平成25年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
a 研究代表者となっているもの b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学関連助成研究
3. その他

(1) 研究所長

波照間永吉(教授・専任)

- 1) 1. 『おもろ研究会1500回記念 おもろを歩く』(平山良明・大城盛光氏と共編著) 2013年3月30日 琉球書房
2. 「歴史の記憶装置としての『史歌』論序説」『ワセダアジアレビュー』13号 2013年2月28日 早稲田大学アジア研究機構 メコン社
2. 「沖縄県立芸術大学・移動大学の実施に関する報告」(柳悦州、久万田晋と共著)『沖縄芸術の科学』第25号 pp.155-185 2013年3月
2. 「今帰仁とオモロ」『おもろ研究会1500回記念 おもろを歩く』2013年3月30日 琉球書房
2. 「『世ば稔れ』考」(上)『沖縄文化』114号 2013年9月23日 沖縄文化協会
2. 「『世ば稔れ』考」『来夏世』2013年9月23日 南山舎
5. 「花開く八重山舞踊の精華」『華風』2013年3月29日 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
6. 「伊波普猷のおもろ研究と浦添おもろ」平成25年度沖縄学講座第1回 2013年6月1日 浦添市立図書館
6. 「『おもろさうし』の世界」放送大学専門科目「人間と文化」(全8回)

- 2013年6月8・9日 放送大学沖縄学習センター(琉球大学内)
6. 「琉球文学の視点から観る古典芸能の魅力」第3回国立劇場おきなわ県外公演
2013年9月28日 名古屋徳川美術館
 6. 『おもろさうし』入門」平成25年度那覇市首里公民館成人講座(全6回)
2013年10月9日～11月13日(毎週水曜日)首里公民館
 6. 「沖縄文化に鎌倉芳太郎が果たした役割」平成25年度 高松市民大学
2013年10月26日 高松市生涯学習センター
 6. 「古琉球の人々が見た天体」星空ガイド養成講座 2013年10月14日
石垣少年自然の家
 7. 「『聞得大君誕生』を観る」『華風』2013年2月28日 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
 7. 「聞得大君誕生」(演目解説)『国立劇場 第十六回琉球芸能公演 新作組踊と琉球舞踊』2013年3月8日 独立行政法人日本芸術文化振興会
 7. 「勝連のクニ」「アガルイに向かて」「伊祖の戦思い」「堂井泉」「海は親物」「煽り立つシマ」「隼鳥の船」「世添いの御腰」「江洲グスク」「ガサスの若太陽」『おもろ研究会1500回記念 おもろを歩く』平成24年3月30日 琉球書房
 7. 「あとがき」『おもろ研究会1500回記念 おもろを歩く』平成24年3月30日 琉球書房
 7. 「當山善堂さんの壮挙を仰ぐ」『精選八重山古典民謡集全巻刊行記念 八重山の歌と踊り』平成24年5月4日 「精選八重山古典民謡集全巻刊行記念 八重山の歌と踊り」実行委員会
 7. 「花ひらく八重山舞踊の精華」『沖縄タイムス』平成24年5月9日(新聞では「祭祀と一体 豊かな世界観」のリードが付けられている)
 7. 「鏡色のなより—なより花輝て—へ」『第三回比嘉いずみの会 鏡色の舞い—なより花輝て』平成24年5月19日 比嘉いずみの会
 7. 「仲程昌徳『南洋紀行』の沖縄人たち」『沖縄文化』113号 平成24年7月23日 沖縄文化協会
 7. 「大田静男『夕風の島』」『沖縄文化』114号 平成24年9月23日 沖縄

文化協会

7. 「大底朝要さんのご逝去を悼む」『八重山毎日新聞』平成24年8月29日
7. 「大城立裕『自伝琉歌集 命凌ぎ坂』』『沖縄タイムス』平成24年12月22日

2012年「主要研究業績」補遺

6. 「オモロの二つの流れ——神女オモロと名人オモロ、そしてオモロ主取——」沖縄で奄美を考える会・宮古の自然と文化考える会・沖縄八重山文化研究会合同例会 平成23年12月23日 沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂
- 2) 1.b 基盤研究(B)「倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」研究代表者：波照間永吉
2. 「沖縄県立芸術大学芸術振興財団助成金」の受給(『おもろを歩く』の出版事業のため)

(2) 芸術文化学部

波平 八郎(教授、兼任教員)

- 1) 7. 看護教育における教養教育の実践的研究(沖縄県立看護大学 4月-8月)
(那覇看護専門学校 2月-12月)(ぐしかわ看護専門学校 4月-9月)
(奄美看護福祉専門学校 6月)(琉球大学医学部附属病院看護部 9月)
- 2) 1.b 基盤研究(B) 研究課題番号：19320028「鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」研究代表者：波照間 永吉(交付額：1950千円)
- 1.b 基盤研究(C) 研究課題番号：22520146「20世紀沖縄の芸術諸領域の文化論的研究」研究代表者：久万田 晋(交付額：1040千円)

麻生 伸一(講師、兼任教員)

- 1) 2. 「近世琉球の進献問題与薩摩藩」『海大日本研究』中国海洋大学出版社(中国) 2013年 pp.79-93

2. 「近世琉球における災害・災禍と祭祀に関する一考察」(研究代表 山田浩世)『2011年度トヨタ財団研究助成採択プログラム報告書 沖縄・奄美島嶼社会における災害・防災の歴史の変遷に関する包括的研究』2013年 pp.69-78
4. 「琉球王国末期の廟制について—先王祭祀にみる琉球の王権—」大阪近世史フォーラム12月例会 阿倍野市民学習センター 大阪 2013年12月
5. 「康熙五十八年 冠船日記 解題」主編：高良倉吉、赤嶺守、豊見山和行『台湾大学典藏全文刊本3 国立台湾大学図書館典藏琉球関係史料集成』第一巻 台湾大学図書館 2013年
7. 琉球大学史学会第46回大会 コメンテーター：屋良健一郎「中世・近世の琉球と種子島との交流」／総合討議司会 琉球大学 沖縄 2013年11月
7. 翻刻・現代日本語訳：西里喜行、赤嶺守、漢那敬子、豊見山和行、麻生伸一、山田浩世、前田舟子「康熙五十八年 冠船日記」「乾隆元年 親見世日記」「乾隆四年 親見世日記」主編：高良倉吉、赤嶺守、豊見山和行『台湾大学典藏全文刊本3 国立台湾大学図書館典藏琉球関係史料集成』第一巻 台湾大学図書館 2013年
- 2) 3. 【2011トヨタ財団研究助成採択プログラム】沖縄・奄美島嶼社会における行政防災施策・制度・システムの歴史の変遷に関する包括的研究 研究分担者助成番号 D11-R-0118／代表者 山田 浩世／助成金額(活動年) 4,200,000円(2年)

(3) 伝統工芸部門

柳 悦州(教授、専任教員)

- 1) 1. 『世界の織機と織物』(編集 吉本 忍、作図 柳 悦州)国立民族学博物館 大阪 2013年3月29日
2. 「沖縄県立芸術大学・移動大学の実施に関する報告」(柳悦州・波照間永吉と共著)『沖縄芸術の科学』第25号(沖縄県立芸術大学附属研究所紀要) 2013年3月31日 pp.155-180

2. 「シルクロードの杭機」『季刊民族学』144 pp.44-47 2013年4月
 2. 「シルクロードの杵機」『季刊民族学』144 pp.56-59 2013年4月
 2. 「ラオスの紋織技術」『季刊民族学』144 pp.60-62 2013年4月
 5. 「日本民藝館展講評」『民藝』722号(日本民藝協会)、pp.25-26 2013年2月
 6. 「世界の絣・沖縄の絣」沖縄県立博物館・美術館文化講座 沖縄県立博物館・美術館講堂 2013年10月19日
 7. 日本民藝館展審査と講評 日本民藝館 東京 2013年11月～12月
 7. 「織遊び教室」講師 沖縄県立芸術大学移動大学in久米島 2013年12月21～22日
- 2) 1. b 基盤研究(B)「倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」研究代表者：波照間永吉
2. 平成24年度沖縄県立芸術大学教育研究支援資金「移動大学を通じた地域貢献に関する研究」プロジェクトリーダー

名護 朝和(准教授、兼任教員)

- 1) 3. 型染額装「痕跡」《和紙作品展》那覇市ぶんかテンプス館 2013年2月
3. 型染パネル作品「FENCEのある場所」《来た、見た、クマモト!》CAMKコレクションvol.4 熊本市現代美術館 2013年5月～6月
3. 型染額装「放」、型染掛軸作品「夏の終わり」「痕跡」《染色回遊 六人の表現展》沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館 2013年9月
3. 型染掛軸作品「薫風」《新匠工芸会展》東京都美術館2013年10月 京都市美術館 別館2013年11月
3. 型染「薫風」《2013 版と言葉展 ～版画集による国際交流展～》沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館 2013年12月
7. 「紅型教室」講師：「沖縄県立芸術大学移動大学in久米島」2013年12月21日～22日(久米島町立清水小学校)

山田 聡(准教授、兼任教員)

- 1) 3. 「イチリヅカ」 沖展 2013年3月

3. Memento mori series : time capsule/March.11 アジア現代陶芸展
2013年5月
3. Memento mori series : a lotus flower 彫刻五七五展 2013年7月
6. かりゆし美術展 審査員・作品解説 2013年1月
6. 「七輪陶芸教室」講師 「沖縄県立芸術大学移動大学in久米島」 2013
年12月21～22日(久米島町立清水小学校)

(4) 伝統芸能部門

久万田 晋(教授、専任教員)

- 1) 2. 「沖縄県立芸術大学・移動大学の実施に関する報告」(柳悦州・波照間
永吉と共著)『沖縄芸術の科学』第25号(沖縄県立芸術大学附属研究所
紀要) 2013年3月31日 pp.155-180
2. 「ビデオ紹介(奄美大島の八月踊り)」(発表要旨)『沖縄・八重山文化研
究会会報』第234号 2013年3月17日
2. 「日本復帰前の沖縄におけるジャズ音楽家の活動」(発表記録)東谷護編
『2012年度シンポジウム記録 日本のポピュラー音楽をどうとらえる
か2 ～ローカルからグローバルへの逆照射～』成城大学機構グロー
カル研究センター 2013年9月20日 pp.67-79
5. 創作エイサーコンテストグランプリ部門審査 世界エイサー大会(沖
縄県文化振興会) 2013年10月6日 浦添市：国立劇場おきなわ
6. テレビ放送出演・解説「全島青年エイサーまつり」(90分番組)2013
年9月21日 沖縄テレビ放送
6. 舞台解説「特選 沖縄の伝統芸能一明日へ響け島々の肝心一」沖縄県
文化協会 2013年9月28日 浦添市：国立劇場おきなわ
6. 講演「歴史をたどるエイサー」世界エイサー大会・エイサー大学～オー
プンキャンパス(沖縄県文化振興会) 2013年10月6日 浦添市：国立
劇場おきなわ
6. シンポジウム司会「沖縄から世界に広がるエイサー」世界エイサー大
会・エイサー大学～オープンキャンパス(沖縄県文化振興会) 2013
年10月6日 浦添市：国立劇場おきなわ

6. 講演「エイサー講座1 歴史」〈エイサーのまち沖縄市エイサー講座〉2013年10月23日 11月29日 沖縄市：エイサー家(ミュージックタウン1F)
 6. 講演「エイサー講座2 分類」〈エイサーのまち沖縄市エイサー講座第3期〉 2012年10月30日、12月6日 沖縄市：エイサー家(ミュージックタウン1F)
 7. 「第3回比嘉いずみの会に寄せて」『第3回比嘉いずみの会 鏡色の舞い～なより花輝て～』(公演パンフレット) 2013年5月19日 p.12
 7. 「書評：繚乱の人(宮崎義敬著、展望社)」沖縄タイムス 2013年11月2日
 7. 「第1回孤島丘奈の会に寄せて」『琉球舞踊太圭流華の会 第1回孤島丘奈の会～根ざす華みち』(公演パンフレット) 2013年11月22日 p.14
 7. 監修・問題作成「エイサー検定〈特級〉」沖縄市観光協会エイサー会館準備室 2013年8月・12月
- 2) 1. a 基盤研究(C)「南西諸島の民謡旋律の系統に関する比較分析研究」(2013年度～2015年度) 2013年度交付額：130万円(直接経費)
1. b 基盤研究(C)民謡現地録音資料データベース化の方法の研究～沖縄民謡を中心に～」(2013年度～2015年度) 研究代表者：金城厚(音楽学部教授)
 1. b 基盤研究(B)「鎌倉芳太郎資料のデータベースの構築・公開とその応用的研究」(2011年度～2013年度) 研究代表者：波照間永吉(附属研究所長)
 1. b 基盤研究(C)「映像を用いた東南アジアのゴング文化の音楽人類学的研究」(2012年度～2014年度) 研究代表者：福岡正太(国立民族学博物館)
 1. b 基盤研究(C)「奄美における文化の伝承・創生のメディア的展開とアイデンティティ形成に関する研究」(2013年～2015年度) 研究代表者：加藤晴明(中京大学教授)

比嘉 いずみ(准教授、兼任教員)

- 1) 3. お茶の水女子大学附属高校「琉球芸能鑑賞会」2013年4月12日
3. 第3回リサイタル 「比嘉いずみの会～鏡色の舞 なより花輝て～」(国立劇場おきなわ大劇場)2013年5月19日
3. 平成25年度一心の復興—大学関連事業 宮城教育大学&沖縄県立芸術大学「琉球芸能公演」(宮城県若林市民センター・仙台市天文台)2013年9月29日
3. 沖縄県立芸術大学音楽学部「第24回定期公演」(名護市民会館大ホール)2013年10月20日
3. 横浜能楽堂・沖縄県立芸術大学提携公演「琉球舞踊 受継がれる伝統—古典・雑踊・創作—」(横浜能楽堂)2013年11月9日
6. 法政大学沖縄文化研究所総合講座「沖縄を考える(琉球舞踊&ワークショップ)」(法政大学 さったホール)2013年9月27日
6. 早稲田大学 アジア研究機構「アジアの芸能と沖縄の芸能文化(琉球舞踊&解説)」(早稲田大学 小野梓記念講堂)2013年9月30日
6. 沖縄県立芸術大学移動大学 in 久米島「琉球舞踊教室」(久米島町立清水小学校)2013年12月21～22日

高瀬 澄子(准教授、兼任教員)

- 1) 2. 「日本で作られた律管」『沖縄芸術の科学』第25号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要 2013年3月 pp.1-19
 4. 「『管絃音義』の「七音義釈」について」第10回日中音楽比較研究国際学会議 東京芸術大学 2013年3月27日
 4. 「『管絃音義』における「返音」」東洋音楽学会第64回大会 静岡文化芸術大学 2013年11月10日
 7. ミニ演奏会「雅楽《平調音取》《越天楽》」平成25年度沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館自主企画展「打つ・弾く・擦る・吹く—いろいろな楽器—」(2013年11月1～7日)沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館第3展示室 2013年11月4日
- 2) 1. a 基盤研究(C) 課題番号23520178 「『管絃音義』の研究」